

## 論文内容要旨

報告番号	甲 先 第 290 号	氏 名	坂本 真理子
学位論文題目	実践のプロファイリング手法を用いた 協働のまちづくりにおける調整役機能に関する研究		
内容要旨			
<p>協働のまちづくりの実践においては、多様なステークホルダーの利害を調整する調整役による調整機能が重要な鍵となっている。しかし、調整役の役割の実態は見えにくく、知見として整理されていない。本研究では、協働のまちづくりにおける調整役機能の実態を明らかにするため、立場や専門の異なるまちづくりの実践者から調整役機能を分析した。さらに、調整役と地域とのつながりに着目し、その度合いによる調整役機能の共通点、相違点を明らかにすることを試みた。</p>			
<p>1. 立場や専門の異なる調整役機能の分析事例</p> <p>(1) 景観デザイナー分析事例</p> <p>景観デザイナーのプロファイルから、Foresterの知見、合意形成の知見より導出した、調整役機能の要素4つ「対話の促進」「討論の司会」「交渉の調整」「合意の実行」にあてはまる行動が抽出できた。</p> <p>(2) 農山村地域における外部協働コーディネーター分析事例</p> <p>「見える役割」と「見えない役割」の存在と課題が整理できた。「見えない役割」を「共感表現」「能力提供」「価値発信」「参加者自主決定の推進」に分類し、それらの役割は調整役の専門家としての能力や価値観に支えられていることが示唆された。</p>			
<p>2. 調整役と地域とのつながり度合いによる、調整役機能の共通点、相違点の考察</p> <p>協働のまちづくりの実践者5名から6つのプロファイルを作成し、調整役の地域とのつながり度合いに着目し、比較分析した。分析においては、既存研究から調整役機能の要素を抽出し、プロファイルから抽出した行動をあてはめた。その結果、共通の項目と、地域とのつながり度合いに、異なる様相を示す機能が明らかになった。</p>			
<p>3. 協働のまちづくりにおける調整役の大事な視点</p> <p>調整役の立場や専門に関わらず、協働プロセスに応じた共通の活動目的を持つが、活動目的のための行動手法は異なることが明らかになった。</p>			